

第43回子どもの市展作品募集要項

1 対 象 秦野市内在住または在学の小・中学生

2 募集部門 書道の部、報徳の部(書道)、美術の部、写真の部

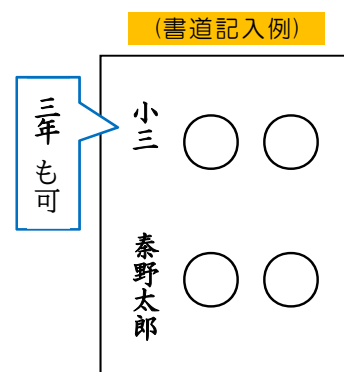
※ 各部門1名1点までです。(写真の部は2点まで)

※ 団体(学校)出品では、書道・報徳ともに出品数の制限はありません。団体(学校)出品する場合は、代表者が出品する旨を子どもや保護者に伝えるとともに、他の団体や個人での出品と重複していないかご確認ください。

3 出品の仕方

(1) 書道の部・報徳の部(書道)

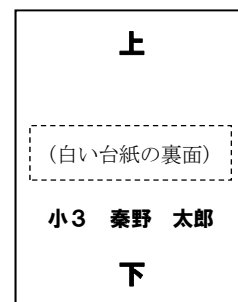
- ・ 半紙に縦書きで書いてください。
- ・ 学年と氏名を必ず書いてください。
記入例のように、学年が分かるように書いてください。
ただし、学校名は書かないでください。
- ・ 硬筆作品は受け付けません。表具もしないでください。
- ・ 書道の部は、題字は自由です。
- ・ 報徳の部については3ページ以降もご覧ください。



(2) 美術の部

- ・ 水彩画・クレヨン画・版画の中から応募してください。
- ・ サイズは B4・B3・八つ切・四つ切のいずれかです。
- ・ 作品の題は自由です。
- ・ 50cm×60cmの白い台紙に貼ってください。白い台紙であれば何でも大丈夫ですが、厚手のものが好ましいです。カレンダー、ポスター等の貼り合わせも可。
- ・ 白い台紙の裏面に、学年と氏名を必ず書いてください。
また、作品の上下が分かるようにするため、
「上」と「下」を記入してください。

(美術・写真記入例)



(3) 写真の部

- ・ カラー、白黒どちらでも出品できます。
- ・ サイズは A4から四つ切(254×305 mm。ワイド四つ切 254×366 mmも可)までの間です。
- ・ 作品の題は自由です。
- ・ 35cm×35cm【ワイド四つ切は39cm×39cm】の白い台紙に貼ってください。
- ・ 台紙1枚につき1枚の写真を貼ってください。

- ・ 白い台紙の裏面に、学年と氏名を必ず書いてください。
また、作品の上下が分かるようにするため、「上」と「下」を記入してください。

4 作品の出品受付

- (1) 日 時 9月5日(金)～6日(土)
午前9時30分から11時30分まで、午後1時30分から4時まで
(6日は午後3時まで)
- (2) 場 所 保健福祉センター 多目的ホール
※ 事前に出品票に必要事項を記入のうえ、作品と一緒に提出してください。
(団体(学校)出品票は2部(コピー可))
※ 出品票は、文化振興課(市役所教育庁舎1階)、各公民館、宮永岳彦記念美術館及び市ホームページにあります。

5 作品の展示

- (1) 展示期間 10月2日(木)～10月5日(日)
午前9時30分から午後5時まで(5日は午後4時まで)
- (2) 場 所 本町公民館 2階 多目的ホール
※ 原則、出品作品の全てを展示します。

6 賞

部門ごとに、特選、秀作などがあります。

7 作品の返却

- (1) 返却場所 出品された作品は、次の方法で返却します。

区 分		返却場所
個人出品	市内小・中学校に在学の方	各小・中学校を通して返却します。
	市外の学校に在学の方	市内の各公民館または文化振興課で返却します。 ※ 出品票に返却希望場所を書いてください。
団体(学校)出品	市内小・中学校	各小・中学校を通して返却します。
	市内絵画教室・書道教室等	市内の各公民館または文化振興課で返却をします。 ※ 出品票に返却希望場所を書いてください。

(2) 市内公民館及び文化振興課での返却期間

11月5日(水)～11月25日(火) 午前9時から午後5時まで

【返却期間中の公民館休館日】

・11月10日(月) 東・鶴巻・渋沢・上・南が丘・堀川公民館

・11月17日(月) 西・南・北・本町・大根公民館

※ 文化振興課は土・日、祝日は休みのため返却できませんのでご注意ください。

8 その他

- (1) 展示期間中は、作品の返却はしません。
- (2) 展示会場にて、「出品者名簿」(氏名、学校記載)を配布します。
- (3) 各賞受賞者には、ホームページ等でお知らせします。団体(学校)出品の場合は、団体(学校)宛に通知します。
- (4) 「作品の出品受付」、「作品の展示」、「作品の返却」については、全ての部で共通です。
- (5) 団体(学校)出品の場合は出品票のコピーを、個人出品の場合は出品票の預り証を、作品が返却されるまで必ず保管してください。
- (6) 返却期間を過ぎた作品は、責任を負いません。
- (7) 重複して出品があった場合は、最初に受付した作品を出品作とみなします。

9 報徳の部(書道)について

(1) 目的

二宮尊徳が広めた報徳思想の言葉の意味を学ぶため、報徳思想に関係する言葉を学年ごとの課題として作品を募集します。

(2) 部門及び課題

ア 小学1・2年生 「とく」、「しせい」、「ほうとく」

イ 小学3・4年生 「勤労」、「分度」、「儉約」

ウ 小学5・6年生 「報徳」、「推譲」、「至誠」

エ 中学生 「報徳思想」、「積小為大」、「一円融合」

(3) 賞

「報徳賞」各部門 3点(計12点)

(4) 作品展示

11月1日(土)にメタックス体育館はだの(秦野市総合体育館)で開催する、「第30回全国報徳サミット秦野市大会」でも展示をします。

報徳（ほうとく）とは？



にのみやそんとくん
(全国報徳サミット秦野市大会
マスコットキャラクター)

「報徳」は、二宮尊徳が広めた考え方で、「自分だけでなく、社会やみんなのためにがんばれば、いずれ自分に返ってきますよ」というものです。

全てのものには、それぞれに良いところがあります。これを「徳」と呼びました。全てのものの「徳＝良いところ」を認めて報いる（ありがたいと感じて恩返しをする）気持ちを持つことが「報徳」です。

報徳思想普及の取り組み

毎年、二宮尊徳にゆかりのある「全国報徳研究市町村協議会」に加盟している17市町村の持ち回りで「全国報徳サミット」が開催されています。

秦野市では、11月1日（土）に「第30回全国報徳サミット秦野市大会」を開催し、報徳思想を広く皆さんに知ってもらうために、講演会等の事業を行います。

課題の解説

積小為大(せきしょういだい)

小さな努力や工夫の積み重ねが大きな収穫や発展につながることに

一元融合(いちえんゆうごう)

物事は、一つの円の中で、互いに働き合い一体となることで、初めて成果が表れるという考え方

推譲(すいじょう)

勤労・分度により、生じた余剰・余力の一部を子孫や社会のために譲ること

至誠(しせい)

まごころを尽くすこと

勤労(きんろう)

物事をよく観察・認識し、社会に役立つ成果を考えながら働くこと

分度(ぶんど)

自分の生活や立場、状況に合った生活をする

儉約(けんやく)

むだをはぶいて、出費をできるだけ少なくすること

問い合わせ

秦野市桜町 1-3-2 市役所教育庁舎1階 文化振興課

電話 0463(86)6309(直通) FAX 0463(86)6563